

静岡市の都市ビジョンと財政状況



平成 26 年 10 月
静岡市財政局財政部財政課
<http://www.city.shizuoka.jp/>

目次

第1部 静岡市の都市ビジョン

プロフィール

広大な市域、温暖な気候、暮らしやすいまち(面積、気候、健康寿命) …	1
東西交通の要所(交通、人口) ……………	2
広域な都市圏の中心(静岡大都市圏及び商圏人口) ……	3
バランスのとれた産業の集積(産業構造、商業の集積) ……	4
地域に根づく企業(市内に立地する主な企業) ……	5

静岡市の都市ビジョン …………… 6

「鳥の眼」ビジョン 「求心力が強く、世界中から人が集まるまち」

戦略的なMICEの推進、静岡プレゼンスの強化、 地域文化のみがきあげと発信 ……………	7
--	---

「虫の眼」ビジョン 「災害に強く、安心・安全に人が暮らせるまち」

防災機能の強化、子育て・教育環境の整備、 セーフティネットの整備 ……………	11
---	----

「都市ビジョン」を支える基盤整備

道路網の整備、3つの都心と地域拠点の整備 ……	13
-------------------------	----

第3次静岡市総合計画の策定 …………… 15

「3次総」骨子案の概要

行財政改革の推進

これまでの行財政改革の取組、新行財政改革推進大綱の 策定、アセットマネジメントの推進 ……………	16
---	----

第2部 静岡市の財政状況

決算

決算の概要(普通会計) ……………	19
決算の推移(普通会計) ……………	21
企業会計への繰出金の推移 ……………	23
財政指標・健全化判断比率の推移 ……………	24
基金残高の状況 ……………	25

市債の状況

市債発行の推移(全会計) ……………	26
市債発行の推移(普通会計) ……………	27
市債残高の推移(普通会計) ……………	28
プライマリーバランスの推移(普通会計) ……	29

今後の見通し

財政の中期見通し ……………	30
市債発行額、公債費の見込み ……………	32
市債残高の見込み(普通会計) ……………	33

格付け ……………	34
-----------	----

プロフィール ～ 広大な市域、温暖な気候、暮らしやすいまち～

面積

全国市区町村で6番目、
政令指定都市では2番目の広さ

- 市域面積 1,411.93km²
- 都市計画区域面積 234.68km²



気候(平成25年)

温暖な海洋性気候、豊富な日照量

- 年間平均気温 17.2℃、年間平均気温差 22.7℃
・・・平均気温の最低月、最高月の気温差が政令市中最少
- 年間日照時間 2,297.6時間・・・政令市中第4位
- 年間雪日数 1日・・・政令市中最少



健康寿命(※)

大都市で全国2位

- 男女平均で 72.96 歳 (平成22年調査)
男性 71.28歳 女性 74.63歳

※健康寿命：人の寿命において「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」

出典：厚生労働科学研究費補助金分担研究報告書「健康寿命の指標化に関する研究－健康日本21(第二次)等の健康寿命の課題－」(平成25年度)

プロフィール ～東西交通の要所～

交通

優位なアクセス環境

- 東海道新幹線
- 清水港(国際拠点港湾)外貨コンテナ取扱量7位(平成25年)
- 東名高速道路、新東名高速道路(平成24年4月県内区間開通)
- 富士山静岡空港

更なる充実

- 中部横断自動車道
(新清水JCT-富沢間 平成29年度開通予定 中央自動車道に直結)
※平成26年7月末時点 工事着手延長率(市内区間) 99.8%
- (仮称)東名静岡東スマートインターチェンジ
(平成29年度供用開始予定)



人口

人口 716,430人

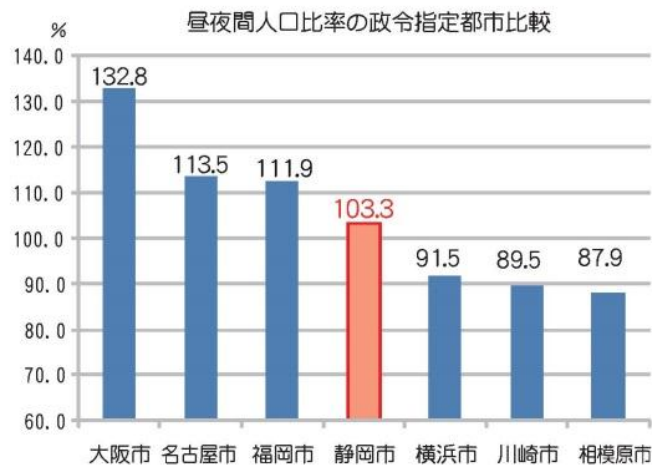
(住民基本台帳人口(日本人+外国人))

※平成26年8月末日現在

昼夜間人口比率 103.3

(政令指定都市中第7位)

※総務省「国勢調査」(平成22年度)



プロフィール ～ 広域な都市圏の中心 ～

静岡大都市圏及び商圏人口

大都市圏人口 約143万人
商圏人口 約158万人

※大都市圏 中心市（静岡市）に加え、中心市への15歳以上の通勤・通学者が当該市町の常住人口の1.5%以上あり、かつ中心市と接続している市町を加えたもの

※商圏 消費需要（購買力）の5%以上を吸引している地域

※都市雇用圏 通勤者のうち10%以上が静岡市に通っている市町

商圏の核となる駅周辺区域に立地する大型商業施設

MARK IS 静岡	30,000㎡
新静岡セノバ	27,765㎡
松坂屋	25,452㎡
静岡伊勢丹	22,968㎡
静岡パルコ	22,036㎡
丸井	13,456㎡
Shizuoka109	11,788㎡



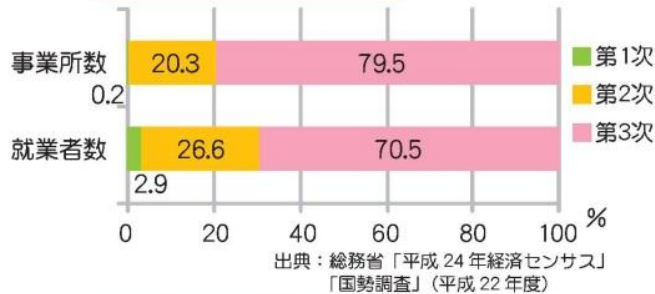
けやき通り、呉服町通り（葵区）

プロフィール ～ バランスのとれた産業の集積 ～

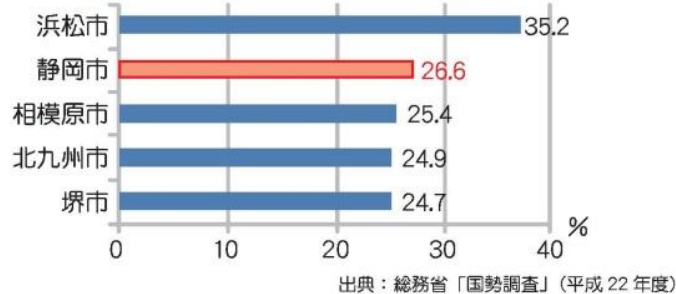
産業構造

- 第3次産業の商業を中心とした都市
- 清水港周辺を中心とした製造業の立地が多く、第2次産業の割合も高い。
- 茶、みかんを中心とした第1次産業

事業所数・就業者数

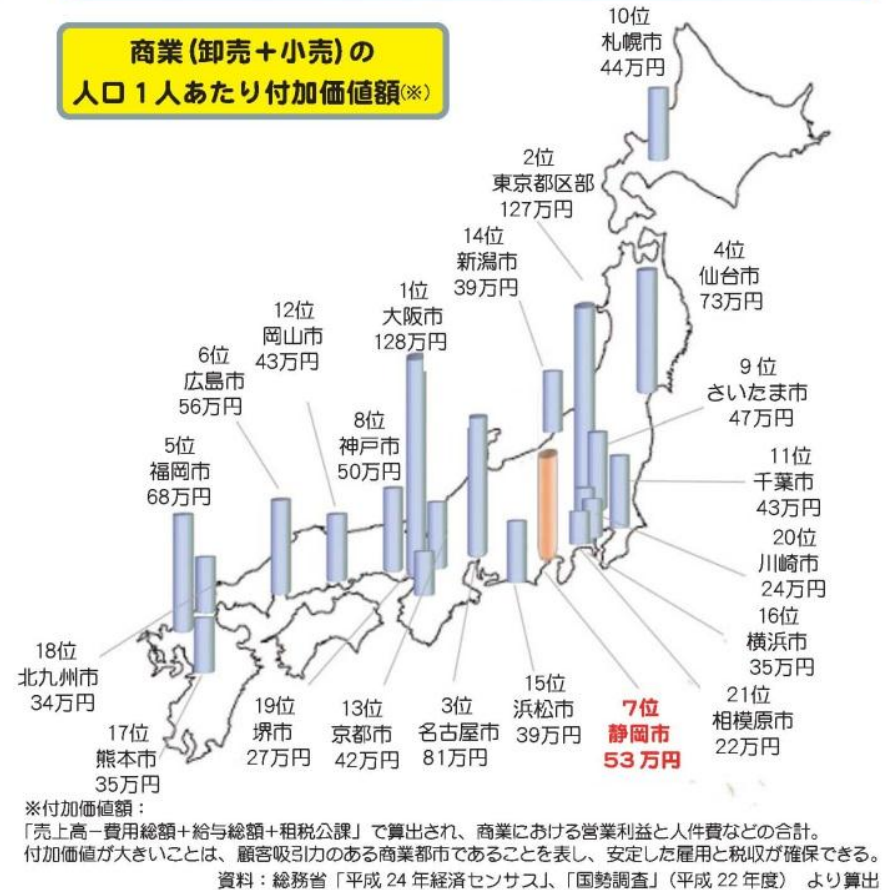


第2次産業就業者数 構成比



商業の集積

商業(卸売+小売)の人口1人あたり付加価値額(※)



プロフィール ～地域に根づく企業～

市内に立地する主な企業

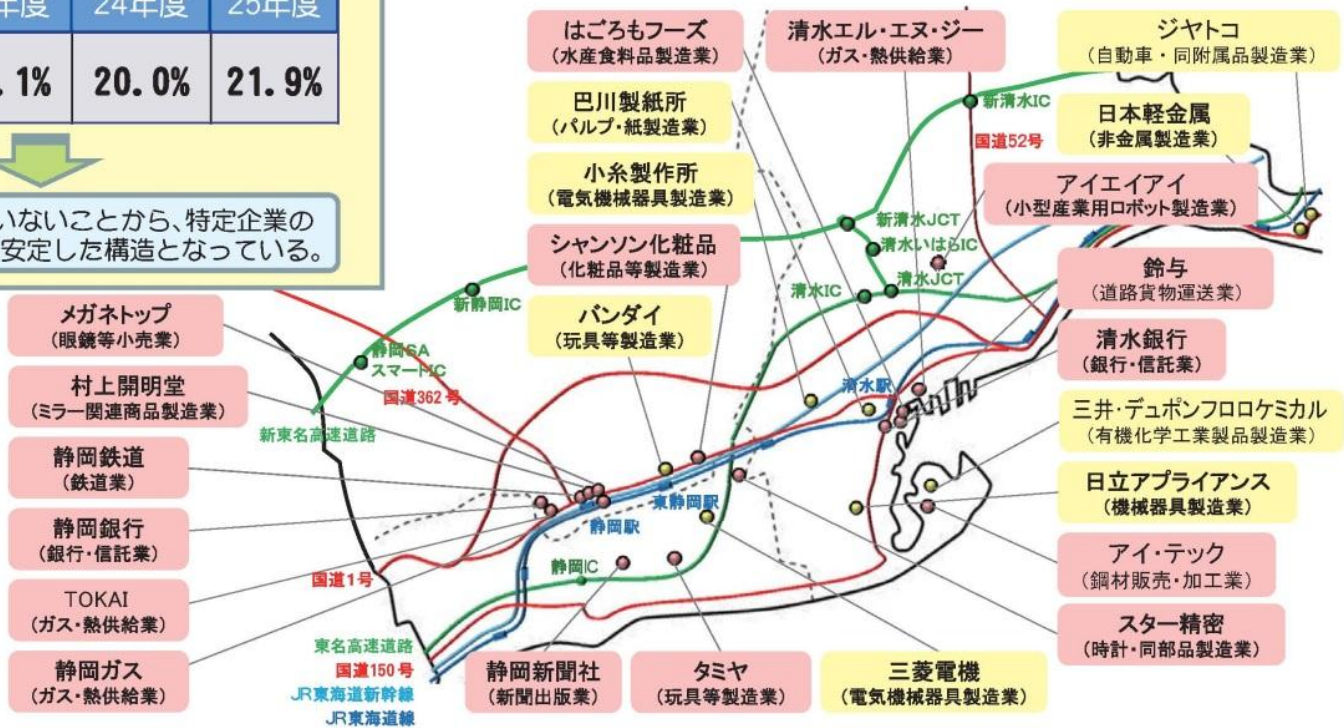
法人市民税税収全体に占める
上位10社の割合

年度	23年度	24年度	25年度
上位10社の占有率	23.1%	20.0%	21.9%

特定企業に傾斜していないことから、特定企業の業績に左右されない、安定した構造となっている。

●本社を置く企業 :

●製造拠点を置く企業 :



静岡市の都市ビジョン

～ 静岡を「希望の岡」に ～



中長期を展望した時間軸
人口活力維持策の推進による
地域経済の活性化

鳥の眼で見る都市ビジョン
「求心力が強く、
世界中から人が集まるまち」



- 戦略的なMICE(マイス)の推進
- 「オール静岡」体制の構築
- 静岡プレゼンスの強化
- 地域文化のみがきあげと発信
- 地元産業の活性化



喫緊の課題に対応した時間軸
防災・福祉・医療の充実による
安心・安全な暮らしの実現

虫の眼で見る都市ビジョン
「災害に強く、安心・安全に
人が暮らせるまち」



- 防災機能の強化
- 子育て・教育環境の整備
- 超高齢社会への対応
- セーフティネットの整備
- 快適な生活環境の保全・整備



まちみがき

都市ビジョンを支える基盤整備

行財政改革の推進

「新しい公共経営」(※)

魅力ある地域資源

※新しい公共経営 (New Public Management =NPM) : 行政が民間の経営理念や手法、成功事例を可能な限り導入すること。

「鳥の眼」ビジョン「求心力が強く、世界中から人が集まるまち」

戦略的なMICE(※)の推進

「シズカン」プロジェクトの推進

シズオカ×カンヌウィーク2014

姉妹都市カンヌの「カンヌ映画祭」にあわせて葵区・清水区中心市街地で「シズオカ×カンヌウィーク2014」を開催。

平成26年5月17日
～25日開催

来場者数 約 **13.5**万人



日本最大の大道芸イベント

大道芸ワールドカップ
観光客数 **184**万人
(平成25年度)

22年
の歴史

世界各国から集まる魅力溢れる
パフォーマンスの競演。

平成26年10月31日
～11月3日開催予定



観光・交流拠点のみがきあげ

日本平



市立日本平動物園
平成25年4月グランド
オープン猛獣館299、
レッサーパンダ館等が人気

観光交流や家族のふれあい、
国際交流など幅広い交流
活動の拠点となる公園の整備



名勝 日本平

滞在性・回遊性
を高める



国宝 久能山東照宮

久能山

国宝としての歴史的・
文化的価値の発信



家康公の洋時計



久能石垣いちご



エスパルス
ドリームプラザ



名勝 三保松原
富士山世界文化遺産の
構成資産(平成25年6月登録)

三保

三保松原・富士山の景観
を活かした眺望観光

※MICE:多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどのことで、企業等の会議(Meeting)、インセンティブ旅行(Incentive Travel)、国際機関等が行う国際会議(Convention/Conference)、イベント・見本市・展示会(Event/Exhibition)の頭文字を取りこう呼ばれている。

「鳥の眼」ビジョン 「求心力が強く、世界中から人が集まるまち」

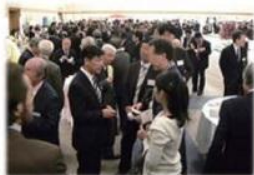
静岡プレゼンスの強化

新たな情報発信

- 静岡市交流会in東京
首都圏の本市関係者等とのネットワーク構築を図り、本市の情報発信力を強化。

平成26年12月17日開催予定

参加対象者：
行政関係者、経済界、スポーツ界など



- 「まるちゃんの静岡音頭」
さくらももこさんの協力を得て制作した「まるちゃんの静岡音頭」を市内外に向けて普及し、本市のイメージ及び知名度・認知度の向上を図る。

しずおかイメージの定着・向上

- ホビーのまち静岡
「模型の世界首都」として世界中の模型ファンが集まるまちへと成長している。

プラモデル生産量
全国シェア約80%

- 「静岡市はいいねえ。」
キャンペーン事業
(さくらももこさんのイメージキャラクターを使用)

ラッピングバス



ホビーショー

徳川家康公顕彰四百年記念事業

平成27年は、駿府城において大御所として政治の実権を握った徳川家康公が、久能山に葬られて四百年となる節目の年。記念事業を展開し、家康公の魅力と功績を未来に継承し、将来にわたってのまちづくりを推進。

- 「家康公が愛したまち静岡」
プロモーション
家康公が愛したまちとしての都市ブランドを確立するため、国内外で家康公ゆかりの伝統工芸品やお茶のプロモーションを実施。



ロンドンで開催された「ハイパージャパン」に出展



- 静岡マラソン2015
家康公ゆかりの名所・旧跡等をめぐるフルマラソン大会を開催し、全国に向けて本市の魅力を発信。

参加者12,000人を予定

平成27年3月1日開催予定

- (仮称)駿府天下泰平まつり
大御所時代の駿府の歴史や文化を紹介したり、体験できるイベントを開催。

平成27年9月19日～27日開催予定

天下泰平まつり 市民大祭
全国ふるさとグルメ 舶来茶屋
お茶のまち静岡 駿府大茶会 など



徳川家康公 銅像

「鳥の眼」ビジョン「求心力が強く、世界中から人が集まるまち」

静岡プレゼンスの強化

南アルプスユネスコエコパーク

ユネスコエコパーク登録決定 (平成26年6月)

平成26年6月、南アルプスのユネスコエコパーク登録が決定。本市を含む10市町村にわたる地域が、地域間交流を拡大し、自然の恩恵を活かした魅力ある地域づくりを図る。

〈特徴〉

- ・3,000m峰が13座(うち本市に10座)連なる急峻な山岳環境の中、固有種が多く生育・生息。
- ・大井川水系などの流域ごとに固有の文化圏を形成。伝統的な習慣、食文化、民俗芸能等を継承。



ライチョウ
(世界南限種)



樺島(さわらじま)ロッジ
〔登山基地〕



南アルプスからの富士山



井川神楽



畑薙(はたなぎ)第一ダム
〔南アルプス玄関口〕



高校生による保護活動



南アルプス
井川観光会館



※ユネスコエコパーク
生物圏保存地域(国内呼称:ユネスコエコパーク)は、生態系の保全と持続可能な利活用の調和(自然と人間社会との共生)を目的として、ユネスコが開始した事業。
国内では屋久島、志賀高原など7地域が登録。

千枚岳からの荒川三山(右)と赤石岳

「鳥の眼」ビジョン「求心力が強く、世界中から人が集まるまち」

地域文化のみがきあげと発信

三保松原の保全と活用・来訪者対策

世界文化遺産「富士山」 構成資産登録（平成25年6月）

平成25年6月、富士山が世界文化遺産に登録され、あわせてその構成資産として三保松原が登録された。

この豊かな松原を未来に引き継ぐとともに、急増している来訪者への対策を推進する。

〈観光交流客数の推移 - 静岡県調べ〉

23年度	63.3万人
24年度	62.5万人
25年度	156.4万人



●松原の保全

- ・松原の管理基本計画の策定
- ・薬剤の散布、枯れ松の伐倒駆除、草刈り・堆積松葉の除去



神の道



羽衣の松

●活用・来訪者対策

- ・三保松原と富士山の芸術と信仰について紹介する、はごろも情報広場「みほナビ」を（仮称）三保松原ビジターセンターに拡充整備



はごろも情報広場
「みほナビ」

- ・観光バス専用駐車場、観光トイレの整備
- ・遊歩道等の改修、羽衣公園の整備 など



- ・回遊性の向上
水上バス「ちやり三保(さんぼ)号」の運行
レンタサイクル事業の拡充 など



「虫の眼」ビジョン「災害に強く、安心・安全に人が暮らせるまち」

防災機能の強化

「静岡市地震・津波対策アクションプログラム」

昨年6月に静岡県が公表した「第4次地震被害想定」を踏まえ、本年2月に策定。
南海トラフ巨大地震による被害を想定しハード・ソフト両面の対策を実施。

〈計画期間〉
平成25～34年度の10年間

〈基本理念〉

減災

〈基本目標〉

地震・津波から命を守る

被災後の市民生活を守る

迅速、かつ着実に復旧、復興を成し遂げる

消防体制の充実強化

消防救急広域化の推進



平成28年4月の静岡県中部圏域の関係2市2町との消防救急広域化に対応した、消防総合情報システム等を整備。

消防庁舎の建設

多様化する災害に対する消防体制の充実強化のため新消防庁舎を建設。

平成28年4月供用開始予定



新消防庁舎完成予想図

津波対策の推進

津波避難ビル指定の増加

津波避難ビルについては、東日本大震災以降、緊急津波対策事業において追加指定を進めている。



〈指定の状況〉

22年度末	23年度末	24年度末	25年度末
57施設	110施設	114施設	123施設

津波避難施設整備

◆津波避難ビル整備事業への助成
民間施設等を有効活用した津波避難ビルの指定を促進するため、外付け階段設置や屋上フェンス設置などの整備費を助成。



外付け階段の例

◆津波避難タワーの整備
高台や津波避難ビルへ短時間で避難することが困難な区域に津波避難施設を整備。



津波避難タワー

平成26年度 3箇所整備予定

「虫の眼」ビジョン「災害に強く、安心・安全に人が暮らせるまち」

子育て・教育環境の整備

待機児童の解消対策

全国初の待機児童園「おひさま」

平成22年に開園した「おひさま」は、育児休業明けで仕事への復帰が決まっているなど、緊急に保育を必要とする3歳未満の児童を保育園に入園できるまで保育する施設。本年10月葵区に3箇所目を開園。



待機児童園「おひさま」
(駿河区)

認定こども園の普及

平成27年4月からの「子ども・子育て支援新制度」に向けて、学校教育・保育及び家庭における養育支援を一体的に提供する「認定こども園」の普及を推進。



◆市立の幼稚園・保育園の認定こども園化

幼稚園 12園、保育所(山間地を除く) 45園
⇒ 認定こども園に移行(平成27.4～)

◆私立の幼稚園・保育園の認定こども園化の支援

施設整備費等の補助

教育環境の整備

- 学力アップサポート事業
有償ボランティアによる放課後の学習指導(小学校5・6年生)。



学力アップ支援員の派遣を拡充



- こころの教育支援事業
小中学校のいじめや不登校等への対応強化。
非常勤講師・パート看護師を拡充配置

セーフティネットの整備

医療環境の充実

- 充実した公立・公的病院
市立2病院と公的6病院による医療体制を完備。
- 障害者歯科保健センター
心身に障がいのある方で、一般の歯科診療所では治療が困難な方への歯科支援施設。



市立静岡病院の医療ロボット



急病センター

- 急病センター
静岡・清水両地域からアクセスしやすい東静岡地区に設置。市域全体の夜間帯の初期救急を担う。

「都市ビジョン」を支える基盤整備

道路網の整備

○新東名高速道路 静岡県内区間開通

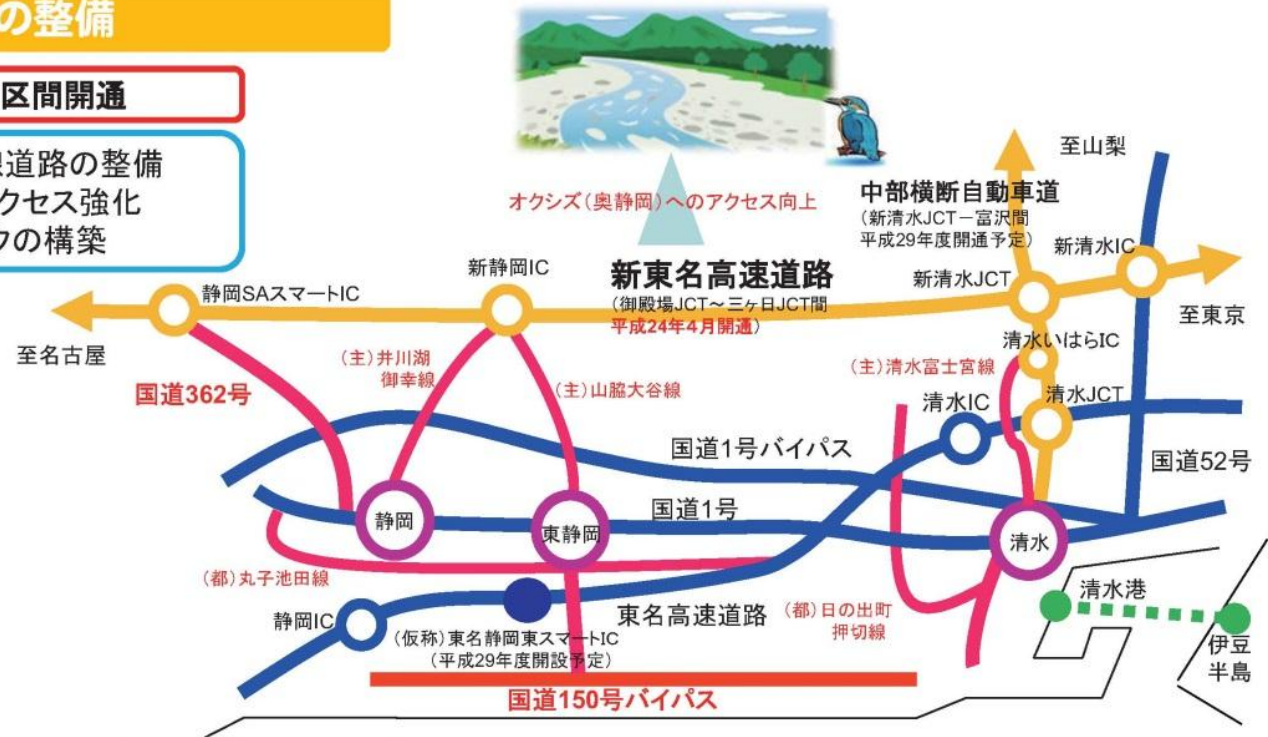
- 東西軸を強化する南北幹線道路の整備
- 新東名・中部横断道へのアクセス強化
- 災害に強い道路ネットワークの構築



新東名新清水JCT



国道150号バイパス



◆「新東名高速道路」開通

- ・幹線道路等との連携による観光・物流の促進
- ・郊外、中山間地、中心市街地間の移動時間の短縮による利便性の向上
- ・「オクシズ(奥静岡)」の魅力発信・・・新東名の開通によりアクセス向上

◆「中部横断自動車道」建設

- ・新東名高速道路等との連携により、更なる観光・物流の発展可能性

◆「(仮称)東名静岡東スマートインターチェンジ」建設 (静岡IC・清水IC間)

- ・静岡ICの交通量を分散し、各地区へのアクセス向上、広域ネットワークを強化

「都市ビジョン」を支える基盤整備

3つの都心と地域拠点の整備



静岡音楽館 AOI
平成7年5月開館



静岡科学館る・くる
平成16年3月開館



静岡市美術館
平成22年5月開館



駿府城坤櫓
(ひつじまもやぐら)
平成26年3月完成



東静岡駅周辺基盤整備
平成28年3月完成予定



清水文化会館
(マリナート)
平成24年8月開館

至東京

清水
都心

清水
ウォーター
フロント
地区

草薙駅
周辺

東静岡
副都心

静岡
都心

安倍川
駅
周辺

至名古屋



JR安倍川駅周辺整備
平成29年3月完成予定



呉服町第一地区
市街地再開発
平成26年3月完成



静岡駅前南町10地区
市街地再開発
平成27年11月完成予定



JR草薙駅周辺整備
平成31年3月完成予定



清水港日の出埠頭

第3次静岡市総合計画の策定 ～「3次総」骨子案の概要～

基本構想(『百年構想』)

「世界に輝く静岡」の実現

～住む人が「誇り」を持ち、訪れる人が「憧れ」を抱く世界水準の都市～

基本計画(H27-34年度までの8年間)

本市の持つ地域資源に新しい価値を与え、地域経済を活性化する。

「創造する力」による都市の発展⇒経済・産業の振興

※ 8年間で取り組む6つの重点プロジェクト

1 悠久の歴史を誇りとして活かした
風格のあるまちづくりの推進 <歴史都市>

2 人々が訪れてみたいと憧れを抱く
個性あるまちづくりの推進 <文化都市>

3 世界中から多くの人が集まる求心力の高い
まちづくりの推進 <中枢都市>

4 市民が住み慣れた地域で暮らし続けられる
まちづくりの推進 <健康都市>

5 あらゆる危機に備えた減災力が高い
安心なまちづくりの推進 <防災都市>

6 多様な国籍をもつ人々が共に平和に
暮らすまちづくりの推進 <共生都市>

静岡市
の力

「つながる力」による暮らしの充実⇒安心・安全の確保

市民・企業・行政が連携して地域課題を解決し、生活の質を高める。

行財政改革の推進 ~ これまでの行財政改革の取組 ~

行財政改革の経緯と効果額

第1次（平成17～21年度）

第1次行革大綱・実施計画(H17～H21)

[基本理念] 分権型行政の展開
 [基本方針] 分権型行政に対応した法体系の確立 外3
 [主な取組] 事務事業合理化・定員管理・民間委託化等

[効果額] 392億円

第2次（平成22～26年度）

第2次行革大綱・実施計画(追加版含)(H22～H26)

[基本理念] 行政と民間の役割分担・協働による行政経営
 [基本方針] 役割分担による公共サービスの提供 外2
 [主な取組] 定員管理、補助金の見直し、受益者負担による使用料見直し等

[追加版]
 まちみがき戦略推進プラン推進のための新たな行革
 (H24～26) 取組を追加(総人件費の削減・市民評価会議等)

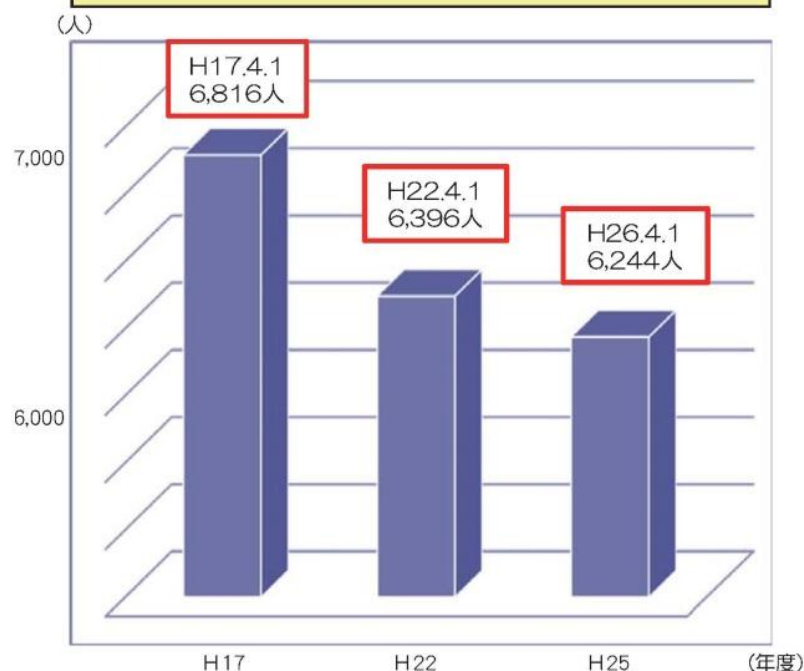
[効果額] 459億円 ※

※第2次の効果額はH25年度まで。

定員管理計画

【正規職員の削減】

第1次（H17～H21） 5年間で▲420人削減
 第2次（H22～H25まで） 4年間で▲152人削減



行財政改革の推進 ～ 新行財政改革推進大綱の策定 ～

新行財政改革推進大綱(平成27～34年度)の概要(中間案)

【基本理念】～目指すべき行財政改革の姿～

行財政改革は、コスト縮減だけでなく、より「住民の生活の豊かさ」を希求した活動が必要
「協働」「連携」を念頭に本市に関わるものが役割を担い、最大限の力を発揮し、豊かな地域社会を実現

▼
「豊かな地域社会を実現するための最適な行財政運営」

○行財政改革を進める際の3つの留意点

「改革のスピード」・・・「機会損失」とならないよう素早く、スピード感をもって改革を進める。

「改革の断行」・・・行革断行を決意、独創的な発想で改革案を立案し、市全体に「改革断行」を浸透させる。

「行財政運営の効率」・・・限られた資源と財源の中で、行政運営を行うには無駄を排除し、効率化を図る。

【基本方針】～行財政改革の基本的な3つの柱～

I 市民協働・官民連携の推進

改革の方向

- 1 市民参加・協働の推進
- 2 官民連携・民間活力の活用
- 3 開かれた市政の推進

II 質の高い行政運営の推進

改革の方向

- 1 人材育成・活用の推進
- 2 効率的な組織体制の確立
- 3 ICTの高度利用による情報化の推進

III 持続可能な財政運営の確立

改革の方向

- 1 健全な財政運営の推進
- 2 適正なアセットマネジメントの推進
- 3 地方公営企業の経営改善

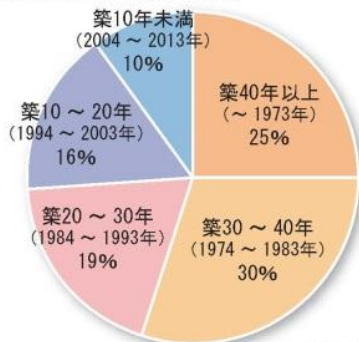
行財政改革の推進 ～アセットマネジメントの推進～

静岡市アセットマネジメント基本方針

公共施設の老朽化

公共建築物、インフラ資産（道路、橋りょう等）の老朽化が進行。10年後には学校、市営住宅等の半数以上の建築物が築40年以上に。

● 築年別延床面積の割合



※平成24年3月末時点

多額の維持・建替え経費が必要

今後30年間で建物の維持・建替えに要する費用を試算すると、約309億円/年。これまで実際に支出してきた金額は過去4年間の平均で約117億円/年。

生産年齢人口1人あたりの1年間の負担額にすると、次世代の負担が約4倍に。

基本方針 1 総資産量の適正化

公共施設のあり方や必要性について、市民ニーズや政策適合性、費用対効果などの面から総合的に評価し、適正な施設保有量を実現。特に公共建築物については、平成55年度までに総延床面積を20%縮減。

※公共建築物の数量と面積

- 施設数・・・約1,500施設
- 延床面積・・・約230万㎡

東京ドーム50個分
市民1人あたり約3.2㎡

※平成24年3月末時点

基本方針 2 長寿命化の推進

定期的な点検・診断の実施と計画的な維持修繕を徹底。長寿命化の推進により、長期にわたる安心・安全なサービスの提供に努めるとともに、財政負担を軽減・平準化。

基本方針 3 民間活力の導入

民間企業等の持つノウハウや資金の積極的導入等で、施設の整備や管理における官民の役割分担の適正化を図り、財政負担の軽減とサービス水準を向上。

※アセットマネジメントとは・・・

計画的な整備や維持管理を行うことで公共施設の寿命を延ばし、長期にわたり安心・安全に利用できる施設を提供するとともに、公共施設の利用促進や複合化・統廃合を進めることで、市民サービスの維持・向上と将来の財政負担の軽減を図る取り組みのこと。